

取手市西部の土地利用

はじめに
 学校周辺地域をフィールドワークして、分かったこと、気づいたことをまとめた。初めから、特に豊富な緑の生かし方について考えた。また、この地域ならではの土地の物徴についても考えた。



地点Aで注目したところ
 ・台地のなかに樹状に形成された谷である谷津が取手にあること
 ・谷津という特徴的な土地における土地利用

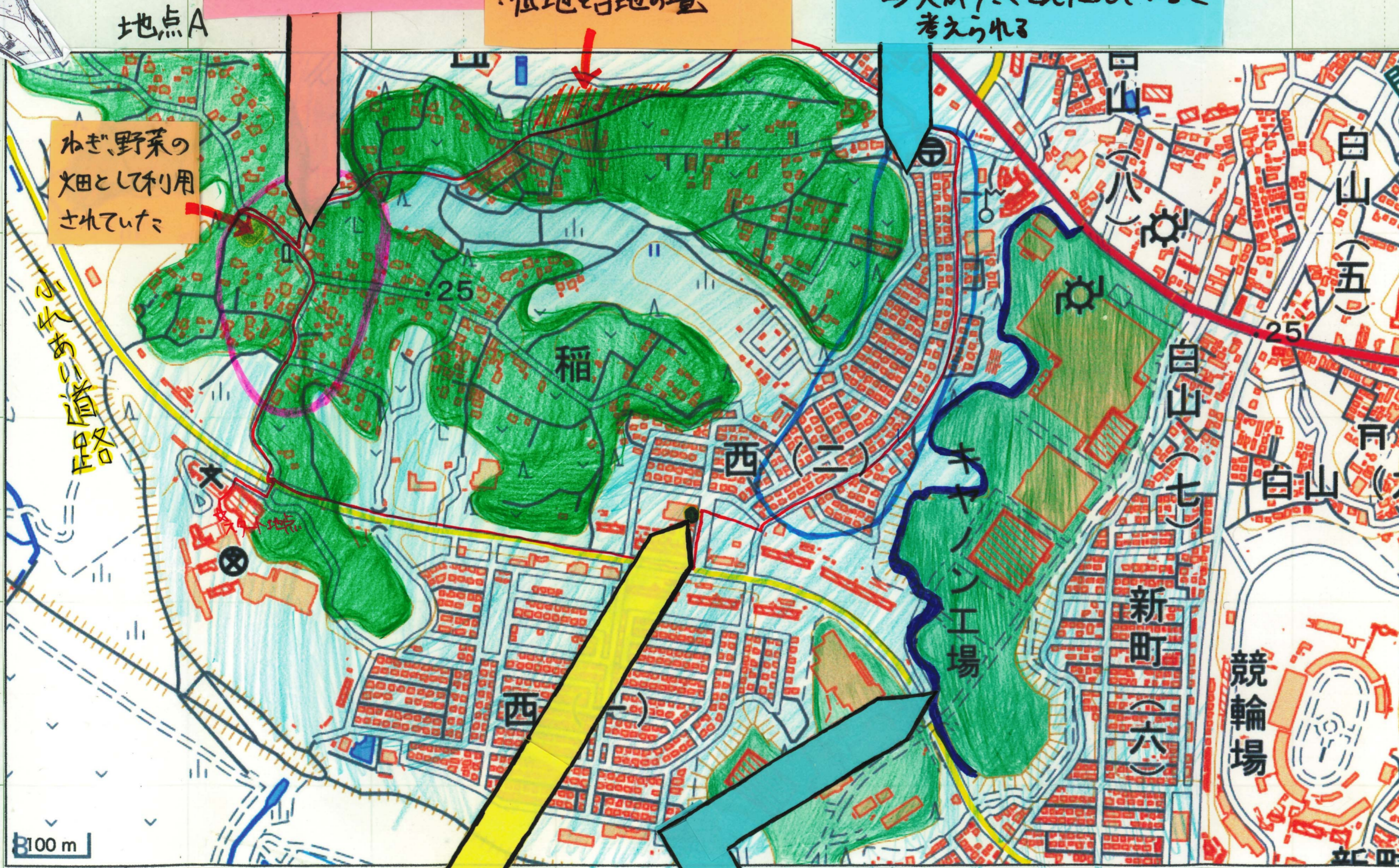
地点Aのまとめ
 ・低地と台地の境は崖のようになっていることが多い
 ・地点Aの地域では昔からそこに住んでいる人と新たに住み始めた人がいる地域であると考える。
 ・谷津という特徴的な土地でありながら住宅場所を工夫してそこに住んでいると考えられる

低地と台地で色分けして分かったこと
 ・台地の中に入り込んだ低地には住宅がないことからそのような地形には住みにくいのではないか考えられる。
 ・一方で、お台地に囲まれていない低地には多くの住宅があり、そのお台地には住宅街と比べると少ないと考えられる。
 ・また、台地の中に低地があり、谷のわたりになっていることが見てとれることから、この地域には谷津があることが分かる。

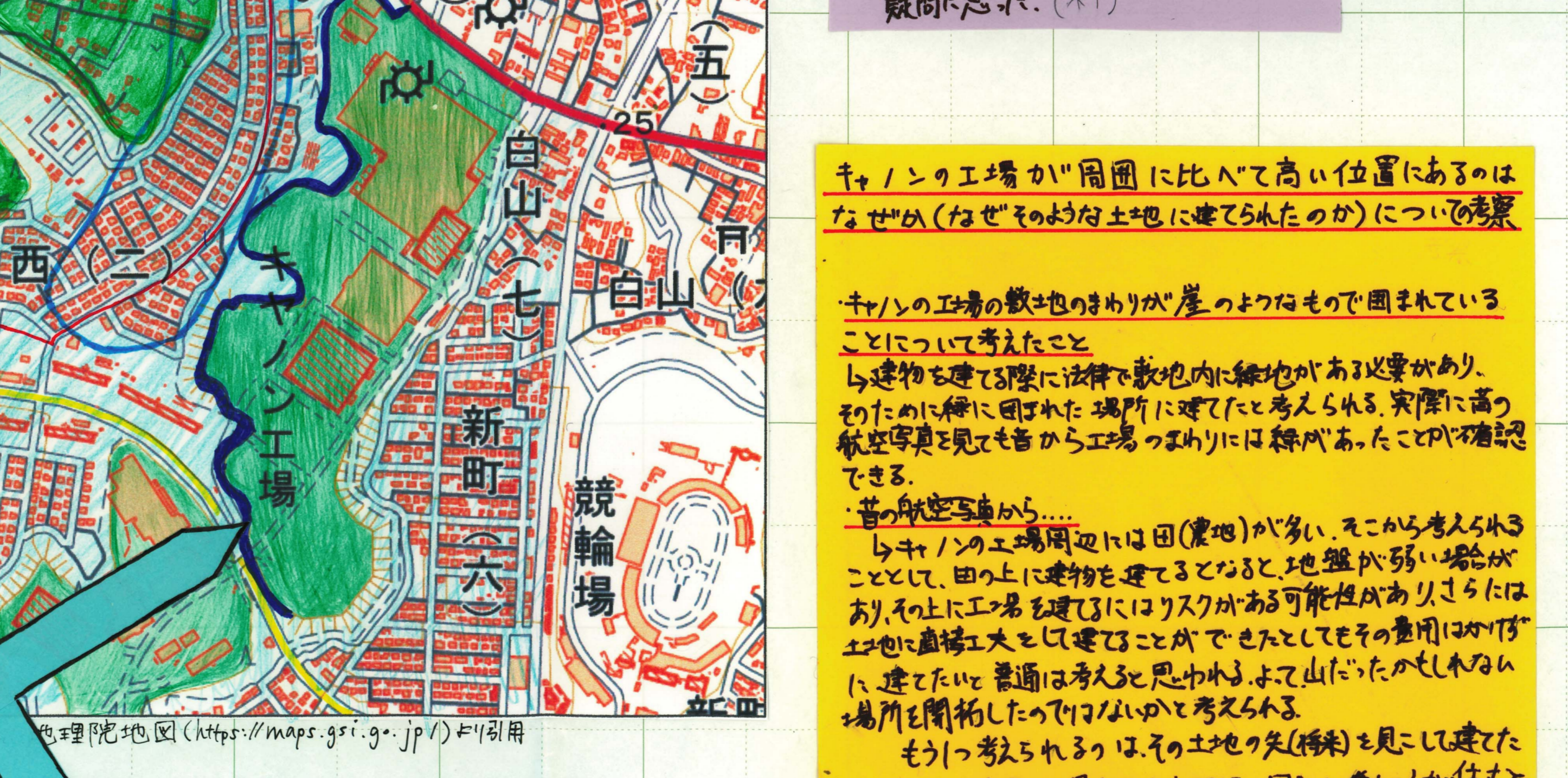
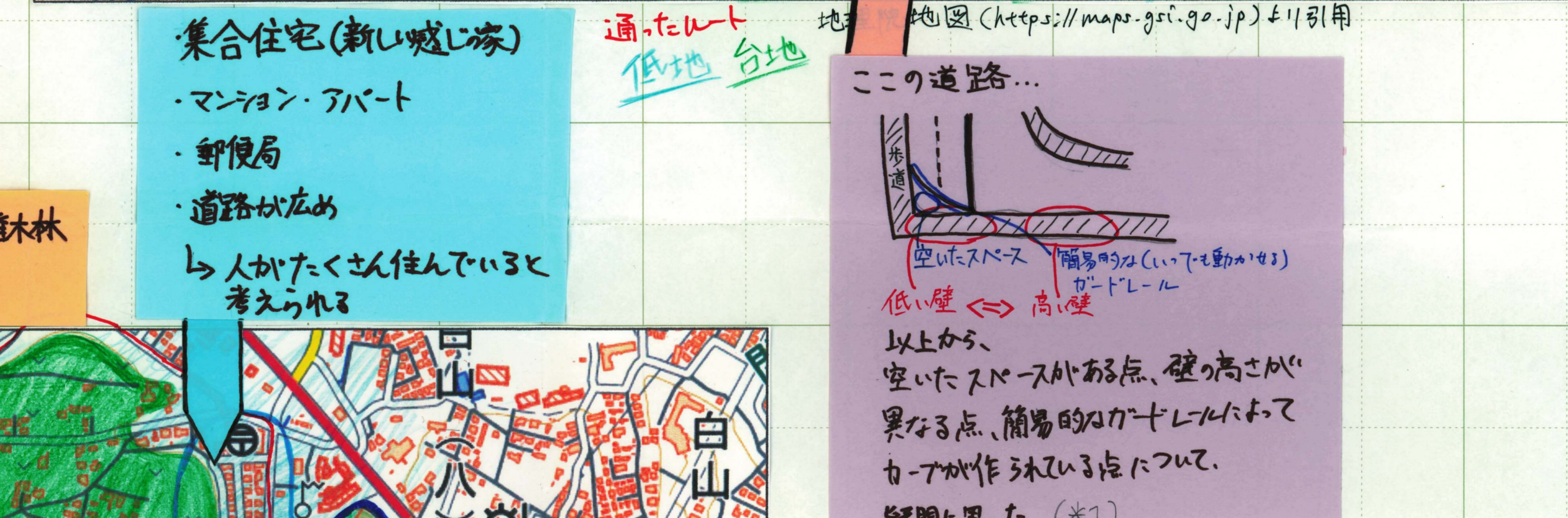
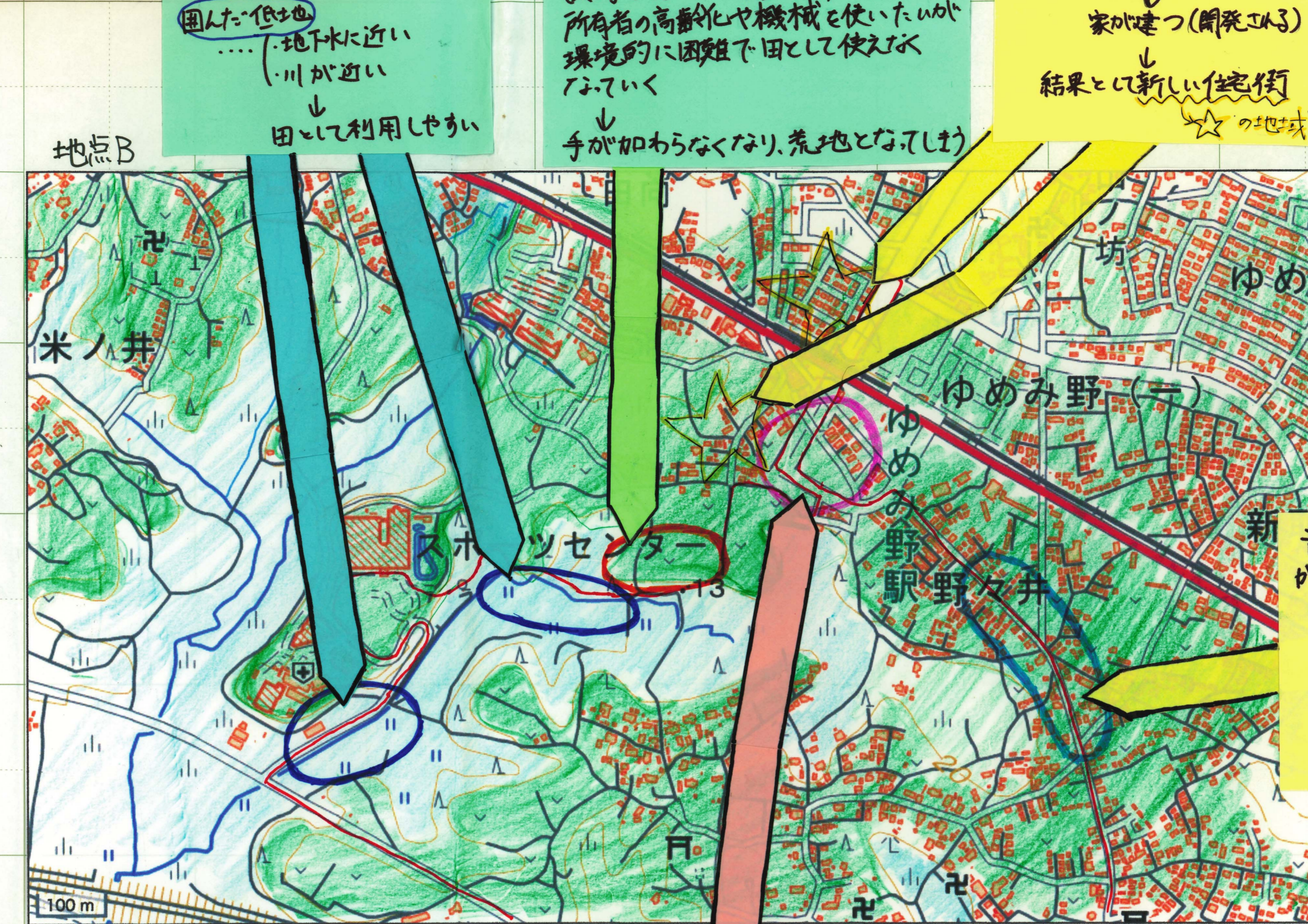
地点Bで注目したところ
 ・地点Aと同様に谷津での土地利用
 ・宅地開発の状況

地点Bのまとめ
 ・歩いて見ることによってきた範囲でも土地利用の仕方や宅地開発の状況は場所によって異なっていた。
 ・地点Bからこれからの土地利用、宅地開発について様々なことが考えられた(考察でくわしく書いた)

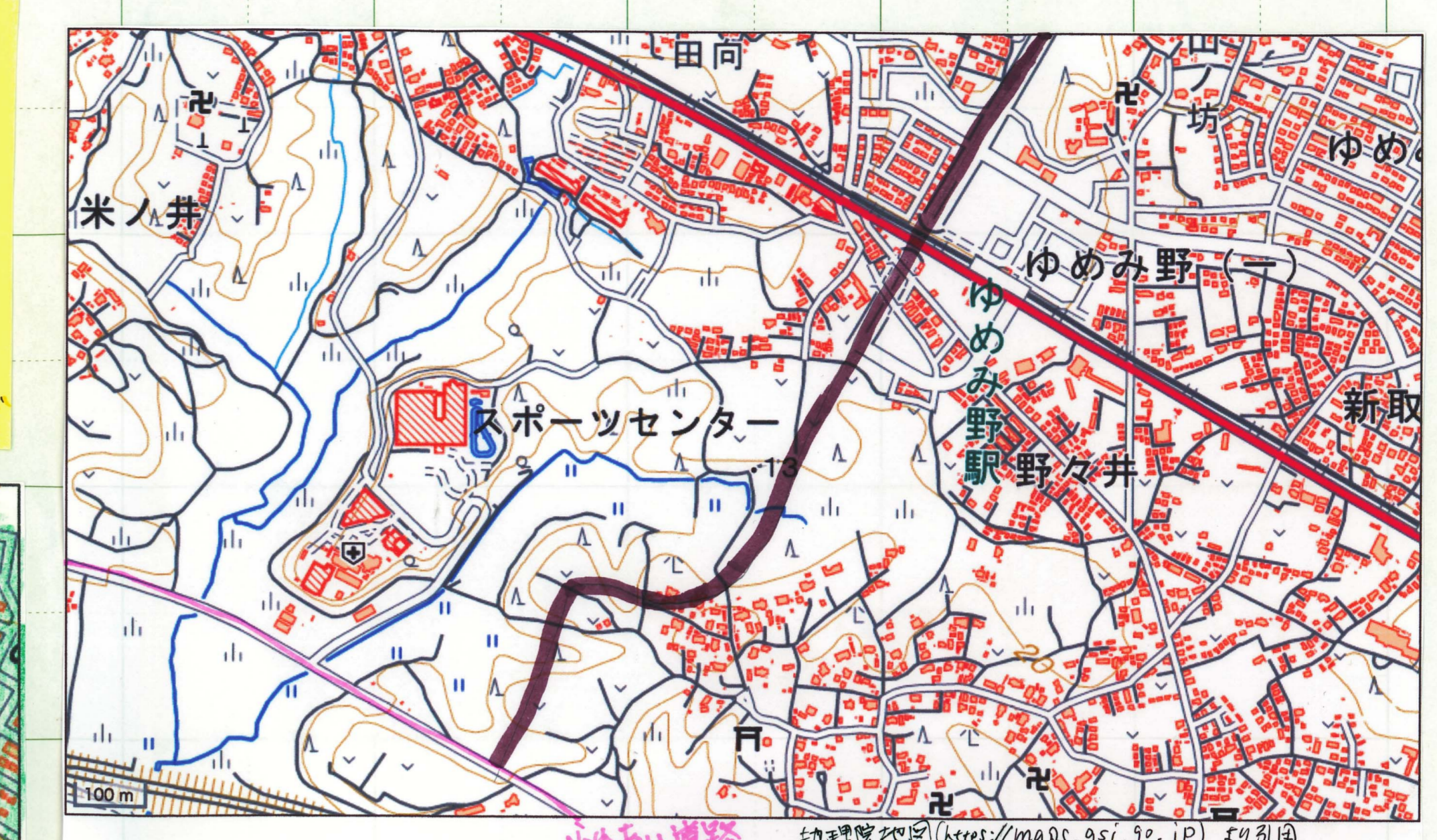
敷地面積が大きい土地が多い(一つの敷地に建築物が2つのところもある。昔ながらの家もあり、ほかに右に宅地(住宅)がある)
 ↓
 管理が大変
 ↓
 お金持たず?か昔からその土地に住んでいた?
 ↓
 航空写真を見ると比較的、ついで(個人)と3は、昔から家があった
 ↓
 後の可能性が高い(昔からその土地に住んでいた)
 ・崖 → 住めない → 雑木林
 ・低地と台地の境



キャノンの工場の敷地の敷地を境に住宅街とキャノンの間に崖のようなものがあり、キャノンの工場が周りは高い位置に建てられたことが分かる。
 ↳キャノンの工場が周囲に比べて高い位置にあるのはなぜか?(なぜそのような土地に建てられたのか?)という疑問が生まれた。



キャノンの工場の敷地の敷地を境に住宅街とキャノンの間に崖のようなものがあり、キャノンの工場が周りは高い位置に建てられたことが分かる。
 ↳キャノンの工場が周囲に比べて高い位置にあるのはなぜか?(なぜそのような土地に建てられたのか?)という疑問が生まれた。



疑問点がある道路についての考察(*1)
 疑問点としては、取手市都市計画図において理解することができず、取手市都市計画図を見るとき、上図で線引いた所は都市計画道路となっていることが分かる。つまり、そこには道路が開発予定というところで、ふたつ道路までつながる道路となることから分かる。そこで、今カーブをしているところが、もっとな道に変わったため、いつでも道を通えるよう、簡易的に低い壁になっていいると考えられる。また、今回歩いて、どのような場所に道路が開通するかに注目して見ると、田や荒地や畑の上にとてつもないことが分かった。このことから、現在、人がほとんど住んでいないところを通過することで、立て置きなどをしていてもいいようにしているのではないかと考えられる。自然の上でも作るというところは、この道路がその土地の人々によって異なるのだと考えられる。

地点A,Bから今後の宅地開発(土地利用)について考えたこと
 「物野地区(取手市)が豊富な自然を生かすには」
 今回歩いてきたところでは緑が多く見られた。一方で宅地開発が進み、緑が失われてしまっているところも見た。その中で、特にやめ野地区下がある。さらに、ここから都市計画道路が開発されていて、失われてしまっているところも見た。そこで、道路については、ここからについて考えた。まず、やめ野には関東鉄道常磐線が通っており、駅もある。しかし、この鉄道は現在、(両方向)2両しか走っていない。道路を通し、移動手段を確保する必要がある。この鉄道を利用することで、道路を通し、移動手段を確保する必要がある。地元の方向に、ここ、昔のこの鉄道は築いてきた。その根拠として、今でも立派な線路が残っている。また、花火大会(両方向)も走っている。つまり、この鉄道が今も残っている。そして、お台地(自然)と緑があるところに道路を作ることで、今あるものを活用することで、今あるこの地域の緑が失われていってしまうのではないかと考えた。
 宅地開発が最も最近でできた住宅を見たが、工場の緑が少ないという感じがした。私の住んでいる地域では、工場の緑が少なくはなっていない。この地域でもそのような傾向がある。また、もっと拍撃していき、お台地(自然)から考えた。

(参考文献)
 ・地理院地図(<https://maps.gsi.go.jp>)
 ・取手市都市計画基本図 15000分の1
 ・Google マップ